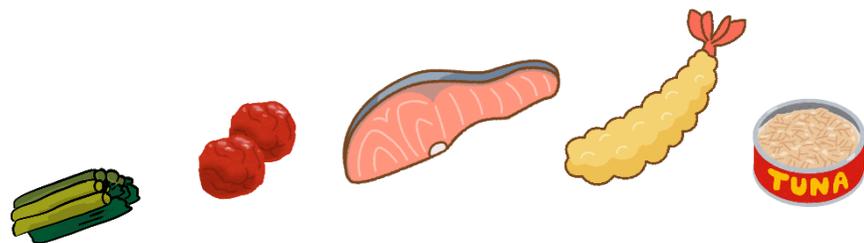


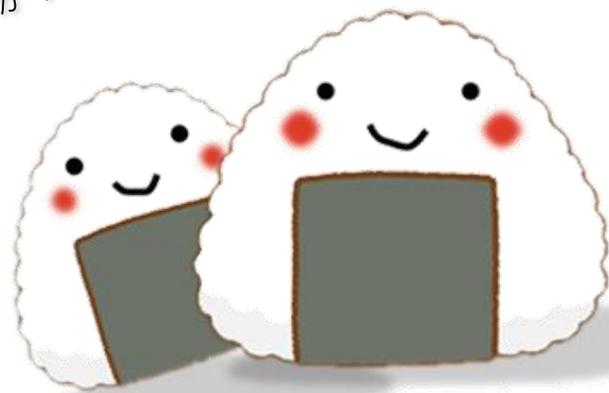
2024年度

はっしん部会

取り組み報告



少しばかり有名になりつつある「おむすび」です



- 部会長：笹谷 秀美 (NPO法人ぷろじえくとPlus)
副部会長：木村 尚子 (一般社団法人暮らしの学校農楽)
部会員：時 沙菜 (豊岡市社会福祉協議会)
増田 真也 (生活支援センターほおずき)
田中美智子 (豊岡市基幹相談支援センター)
岡本 優嗣 (豊岡市社会福祉課)

[振り返り] 9月の報告では・・・

□ 好事例集の素材集め

HPに「事例の報告様式」を添付することで随時追加可能な状況にしています。また、相談グループで繰り返し協力依頼を行っています。

□ 研修会の開催

令和6年9月7日（土）10時～12時
岩手県立大学社会福祉学科佐藤教授をお招きしての「権利擁護研修」を実施しました。

□ 空き情報ページの充実

豊岡市のHPに掲載中の空き情報ページについては、近々リニューアル予定でパンフレットや動画の掲載を可能にします。

□ 会報誌の発行

「様々なものを繋ぐ！」ことを発行のねらいとして会報誌を作りました！

[下半期の取り組み]

第5回 はっしん部会

令和6年9月25日（水）10:00～12:00

- 権利擁護研修の振り返り
- 会報誌vol.1発行に向けて 各自担当箇所の進捗確認
- ちょうせい会議内容の報告

第6回 はっしん部会

令和6年12月6日（金）10:00～12:00

- 全体会の報告
- 会報誌vol.2発行に向けての内容協議
- 自転車教室実施の検討 ※報告記載あり

毎月開催の予定でしたが・・・
諸事情により延期となりました



第7回 はっしん部会

令和7年1月20日（月）10:00～12:00

- 会報誌について vol.2は完成間近！vol.3の内容は？？？
- 全体会の報告＋今後の全体会について
- 自転車教室の日程確定！詳細確認

第8回 はっしん部会

令和7年2月27日（木）13:30～15:30

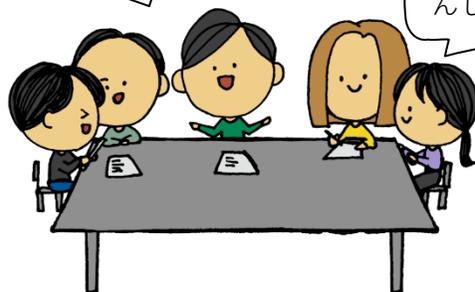
- 会報誌について
- 自転車教室振り返り
- 次年度の研修について
- フェス型全体会の取り組みについて

令和6年11月1日道路交通法の改正

自転車運転中の携帯電話使用等に起因する交通事故が増加傾向であること及び自転車を酒気帯び状態で運転した際の交通事故が死亡・重傷事故となる場合が高いことから、交通事故を抑止するため新しく罰則規定が整備されました。

利用者、相談者の方には
自転車で事業所に通って
居られる方や、普段の生
活で自転車を利用してい
る方が多いよね。

ルールは知って
おいた方が良く
んじゃないかな。



成人の自転車教室 IN多目的ホール

令和7年2月17日（月）に実施しました！

当日は支援者、利用者合わせて25名程の参加で実施しました。
文字で！動画で！更に「自転車シミュレーター」を使っでの体験で！説明いただいたことでもわかりやすく学ぶことができました。
後日談ですが、利用者さんの反応としてはヘルメットの購入をされたり、保険の手続きを考えられたりと、一定の効果があったとの報告を聞いています。



資料で



講義で



動画で



体験で



[2025年度の取り組み]

研修会

協議会で実施する虐待防止研修は、虐待防止委員会設置の義務化から3年間の予定でしたが、十分に周知が図れていなかったため次年度を最終年度とします。協議会での実施終了を周知すると共に、各事業所単位で出来る「虐待防止研修」についても提案を行います。また、せいかつ部会が協議をしている「成年後見」も含めた「権利擁護研修会」としての実施を目指します。その他、交流を兼ねた研修や原点回帰を図れるような内容の研修についても検討予定です。

市HP関連

引き続き進捗確認を行いながら必要に応じてグレードアップを図り、但馬圏域での活用に限らず圏外からの問い合わせにも対応できる様、PR方法を検討していきます。

会報誌

現在は事業所限定で配布を行っているため、一定回数発行した後、反応を確認すると共に振り返りを行い、配布先（対象者や目的を明確にした上で）や発信方法についても検討予定です。

全体会

令和7年4月1日～令和9年3月31日までを任期とする来期については、1年目を通常の全体会とし、2年目後半は部会報告以外にも豊岡市の状況を知ってもらえる機会として「フェス」的志向での開催を目指します。開催に当たってははっしん部会を中心に、準備委員を立ち上げて準備を進めます。

その他

**柔軟に対応できることははっしん部会として積極的に
取り組みます！！！！**

※他の部会との兼ね合いや、周りからお聞きするご意見を共に年度途中で急に取り組むこともあるかと思えます。

・・・こんな取り組みどう？と提案いただけるとありがたいです。

こんな情報や取り組み
はどう???

アイデア、ご意見ください

豊岡市のサービス（各事業所）誕生の歴史は長く、それぞれの組織にそれぞれのストーリーがあります。「何となく」では無く、確たる信念を持って生まれ、育てた組織を皆誇りに思って現在も運営に当たっています。

その中で、どの組織にも共通して言えることは「利用者さんや相談者さんが主体であること」かと思います。

沢山の組織があると、繋がっているようで繋がっていない所や、届いているようで届いていない情報等も出て来ます。無理なことは無理と諦めますが、「繋ぐ」システムさえあればたとえ少ない選択肢の中であったとしても「選ぶ」ことをしながら自分の人生を進むことに繋がる気がしています。

はっしん部会は今後も色々なものを結んだり繋いだりするための「発信」や企画を進めていきたいと思っています。全体会委員さんは各分野に精通した方ばかりです。私たちでは思いつかないことも様々な角度から提案いただけると期待「大」です。よろしくお願いいたします。

ちなみに・・・現在の会報誌の内容は以下の通りです。



☆自立支援協議会とは

☆市HPの二次元バーコード（毎回）

☆スポンサー広告スペース（毎回）

☆過去の成果物（単発）

☆部会の取り組み（都度）

☆「え？あそこの事業所ってそんなことしてるんや～」事業所の活躍をPR

☆「すごい頑張ってるおススメの人を紹介！」で人を繋ぐ

☆カフェ、食堂をやってる事業所を紹介し「行ったこと無い人」とお店が「繋がる」



前回の全体会で田垣副会長から
いただいた提案につきましては、
「音声コード」や「アクセシブル
コード」等について勉強しな
がら配信方法も含め検討してい
く予定です。

アクセシブルコード

アクセシブルコードは、視覚障害者がより自立した生活を送るために作られましたが、すべての人々に役立ちます。たとえば、ディスレクシア（読字障害）の人には、文字情報よりも音声による情報の方が理解が容易ですし、日本語が読めない外国語話者にも日本語と同じ量の情報を伝えることができます。アクセシブルコードは、さまざまな背景やハンディキャップを持つ消費者のために役立つ、最もシンプルなソリューションです。

音声コード

紙媒体に掲載された印刷情報をデジタル情報に変えるための二次元のバーコードです。

漢字を含めた活字文書で、1コードに約800文字程度の情報が入ります。音声コードは、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末（iOS及びAndroid）や専用機械を使って文書を音声で読み上げることができ、だれでも情報を得ることができます。

これにより、情報バリアフリー化が促進されるとともに、情報提供主体においても、単一の紙媒体による情報提供が可能となり、情報提供サービスの効率化が図られます。

なお、音声コードを再生する専用機械（活字文書読み上げ装置Tellme）は、日常生活用具の給付対象品となっています。